

理系



インターンシップ

Q.01 そもそもインターンシップとは？

A インターンシップとは、**学生が就業体験できる制度**です。実際に企業で働く体験を通して、業界や仕事に対する理解を深められる格好の機会です。気になっている仕事がある方も、まだ働くイメージが湧いていない方も、インターンシップに参加することで得られるものは多いはずです。

Q.02 参加するメリットは？

A 社会にはアルバイトでは入り込めない職場、体験できない仕事が多くあります。そのような仕事をインターンシップで体験し、**早い段階で仕事・会社理解を深める**ことは後に控えた就職活動に臨むうえで大きなアドバンテージとなるでしょう。



Q.03 どうすれば参加できる？

A 理系ナビなどの情報サイトや、企業の自社HPでインターンシップ情報は告知されますので、まずはそこからエントリーしてください。その後、書類選考や面接などがあります。選考では応募理由や、大学での専攻(研究内容)、自己PRなどについて問われることが多いようです。

Q.04 参加するには専門知識が必要？

A 応募資格として特定の知識やスキルは不問としている企業が多いですが、技術系職種のインターンシップの場合は専攻やプログラミングなどのスキルを応募条件とする企業もあります。応募の際にしっかり確認してください。

Q.05 どんな種類がある？

A インターンシップは実施企業によってプログラム内容も様々です。実施期間も1dayから数か月にわたるものまでありますが、メジャーなのは1日～数日程度のプログラムです。また、昨今は従来のオフラインで行うインターンシップだけでなく、オンラインで開催されるプログラムも増えています。

代表的なインターンシップのタイプ

■ 実践タイプ

実際の職場に配属され業務に準じた就業体験ができるタイプ。日常業務を間近に見ながら実際のビジネスを体験できる。

■ セミナータイプ

セミナーや講義形式で社員がレクチャーするスタイル。比較的短時間で、業界や仕事について幅広い知識を得ることが可能。

■ 見学タイプ

引率担当の社員とともに職場を見学し、会社の雰囲気や環境を体感するスタイル。工場や研究所など、滅多に入ることができない場所を見学できるチャンスも。

■ ワークタイプ

商品企画やマーケティング戦略立案など、実務に沿った課題に、個人もしくはチームで取り組むタイプ。最後にはプレゼンテーションを行い、社員からフィードバックをもらえることも。

■ コンテストタイプ

ビジネスコンテストやプログラミングコンテストといった形式で行われ、最も優秀な成果を出した方には賞金が出る場合も。

インターンシップの開催形式

■ オフライン開催

実際の職場で社員と直に交流しながら業務体験できるのがオフラインインターンシップの魅力です。普段は絶対に入れない職場や工場を訪れたり、社員から社外秘ギリギリの情報や直接的な情報が大きな魅力。会社風土や社員の人の柄といった、WEBではなかなか伝わりにくい情報を得られるのもメリットといえるでしょう。

■ オンライン開催

WEB会議ツールなどを用いて開催されるのがオンライン形式のインターンシップです。オフライン開催と比較して参加できる人数が多く、遠隔地の学生も参加が容易になるというメリットがある一方で、WEB画面越しでの参加なので得られる情報は限られるという点に注意が必要です。

「インターンシップに参加すれば就職活動に役立つ」という話を聞いたことはあっても、「そもそもインターンシップって何?」「参加することでどんな経験ができる?」など、いま理系ナビをご覧になっている読者の皆さんにとって、インターンシップはわからないことの方が多いかもかもしれません。このページからの特集「理系×インターンシップ」では、企業視点でのインターンシップ活用法や先輩のインターン体験談といった切り口で解説します。インターンシップを理解し、将来のキャリアを考えるためにぜひ活用してください!

インターンシップの疑問

10

10 questions
about internship



Q.07 アルバイトとの違いは?

A アルバイトの目的が「賃金」だとすれば、インターンシップの目的は「仕事理解」といえます。それゆえインターンシップの場合は企業が学生の受け入れ態勢を整え、比較的短い期間でビジネスを体験できるコンテンツを用意してくれています。その一方、給与については「インターンシップはあくまで就業体験の場を提供するもの」というスタンスの企業の場合、支払われないこともあります。

Q.09 選考対策は必要?

A 人気企業のインターンシップには数多くのエントリーが寄せられます。面接やグループディスカッションなどは練習をしている学生としていない学生では差が付きやすいので、どうしても参加したいインターンシップがある場合は選考対策をお勧めします。

WEBサイトの理系ナビ「就活ガイド」では、就活対策記事やインターンシップ体験談などの読み物を公開しています!



Q.06 参加すれば採用選考で有利になる?

A 外資系企業などでは、インターンシップでの評価が採用選考に大きく影響することが少なくありません。そのほかでは、「インターンシップは採用選考には一切関係ない」と明言している企業は多いものの、インターンシップに参加することで仕事・会社理解が深まるのは確かです。仕事や会社についての理解が深ければ、採用選考の際に志望動機や自己PRを作りやすくなり、そういった面では採用選考で有利といえるでしょう。



Q.08 どんなプログラムに参加すればいい?

A 最初は「どのインターンシップに参加すればよいか分からない」という方が多いかもしれません。そんな場合は、直感でもよいので少しでも気になった企業・興味を持ってそうな仕事をピックアップし、エントリーする企業を選んでみてください。あまり関心のなかった業界・職種でもインターンシップに参加することで様々な発見があるはずです。また、可能であれば複数のインターンシップに参加し、社風の違いなどを実感することをお勧めします。

Q.10 参加の際に意識すべきことは?

A 業界・仕事理解を深めるということはもちろんですが、心がけてほしいのは「社会人として求められる能力」や「自分が目指したい働き方」を見極めるよう意識することです。インターンシップを通じて「社会で働くうえで自分に足りないもの(知識・考え方など)がある」と感じた方は、就職活動の時期までに自身を成長させていってください。インターンシップはどんな職種・スタイルで働くことが自分にとってベストなのかを就業体験を通して見極めるまたとないチャンス。このチャンスを活かし、自身のキャリアを考えるきっかけにしてほしいと思います。